

2015年2月12日
第6回知の市場年次大会

開講拠点 東京・日本橋室町

開講機関:三井不動産

三井不動産株式会社
日本橋街づくり推進部
吉山 太朗

1. 機関の紹介

三井不動産株式会社は、総合ディベロッパーのリーディングカンパニーとして、国内外において、オフィスビル、分譲・賃貸住宅、商業施設、ホテル、エンターテインメント施設等が高度に複合した、日本橋再生計画や東京ミッドタウン、柏の葉キャンパスシティといった「街づくり」を中心に、開発だけではなくその後のタウンマネジメントも含めた事業展開を行っています。

2013年度前期から、知の市場の趣旨に賛同し、街ブランドの向上の一環として、日本橋において開講期間として講座を開講し、今期も2講座を開講しました。

2. 開講の意義

日本橋は、三井グループ発祥の地であり、江戸時代を通じ人、モノ、カネ、情報の拠点でした。当時の賑わいを現在にも取り戻すべく、「残しながら、蘇らせながら、創っていく」をテーマに、官・民・地元一体となった街づくり「日本橋再生計画」を推進中ですが、知の市場への参画および講座の開講は、日本橋からの様々な情報発信の中で、将来的によりアカデミアサイドからの「知の発信拠点」となることをめざし行うものです。

3. 開講講座

前期: 国際企業特論 1 (多様化する化学産業における基本技術と事業のグローバル化)

連携機関: 社会技術革新学会 社会技術革新学教育研究会

後期: 農業総合管理(農薬のベネフィットとリスクの総合管理の実際)

連携機関: 化学生物総合管理学会 化学物質総合経営教育研究会

以上